

令和2年度 第4回社会教育委員会議次第

と き 令和2年10月26日(月)
午前9時30分から
ところ 愛荘町役場 秦荘庁舎
2階 大会議室

1. 開会あいさつ

北村代表
徳田教育長

2. 協議事項

(1) 令和2年度 あいしょう学びの広場講座の事業結果報告について(資料1)

(2) 令和3年度 あいしょう学びの広場事業について(資料2)

(3) 令和2年度 滋賀県社会教育研究大会について(資料3)

※会場参加するとご報告いただいた方は、11月5日(木)午後0時15分に秦荘
庁舎前集合・出発でお願いいたします。

3. その他

4. 次回、社会教育委員会議、教育委員と社会教育委員との意見交換会の日程調整について

5. 閉会あいさつ

西川副代表

資料 1 - ①

令和2年度 あいしょう学びの広場講座の事業結果報告

①. 「究極のエコバッグ～ふろしきからくらかたを見直そう～」

- 日 時：令和2年8月29日（土）午前9：30～午前11：30
- 場 所：ハーティーセンター秦荘 中ホール
- 参加者数：8名（申込者数は9名であったが、うち1名は欠席）
- 内 容：前半は、地球温暖化について、講師が用意したマグネットパネル、またパワーポイントを使用しての講義があった。参加者は年配の女性ばかりであるため、講義内容はよくご存知の内容であり、復習の意味合いで熱心に受けていただいた。

後半は、風呂敷や布ハンカチを使って包み方や結び方の実技の講義があった。風呂敷1つで様々な活用ができることを学び、生活の知恵をご教授いただいた。参加者は、実践的なことが学べ満足した様子だった。

アンケート結果

- ・受講申込者数 9人
- ・当日の受講者数 8人
- ・アンケート回収数 8人
- ・アンケート回収率 100%

（1）講座内容はいかがでしたか？

	非常に良い	良い	普通	あまり良くない	未回答
人数（人）	3	3	0	0	2
割合（%）	37.5	37.5	0	0	25

（2）開催曜日はいかがでしたか？

	この曜日（土曜日）が良い	（ ）曜日が良い	未回答
人数（人）	7	0	1
割合（%）	87.5	0	12.5

（3）開催時間はいかがでしたか？

	この時間（午前中）がよい	（ ）時頃が良い	未回答
人数（人）	8	0	0
割合（%）	100	0	0

(4) 今後どのような講座をご希望ですか？

お菓子講座、ヘルシー（減塩）お料理講座、マナー講座、折り紙、家で簡単にできる体操、若者の心の病気について

(5) この講座を受講した感想について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・地球温暖化、ゴミ問題、一人一人が気を付けなければ、小さな一歩からやっていかなければ、と思います。
- ・風呂敷の活用術をいろいろ教えて頂き良かったです。
- ・必要な事だと思った。習いたいと思った。
- ・人数（受講生）が少なくびっくりしました。最近、風呂敷を使う事がなく（タンスの中にねむっている）、チラシを見て興味がわき受講しました。知らない包み方がたくさんあり、大変勉強になりました。忘れないよう、今日から風呂敷を持とうと思います。
- ・知っているようで知らない事が多かった。改めて再確認できてよかった。
- ・レジバッグが使いなくなったので、家のどこかに隠れている風呂敷をぜひこのチャンスに利用したいし、洗って何度も利用できてよい。

(6) 生涯学習課または愛知川公民館が企画する講座全般について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・スマホの使い方、運転免許証を返上したらどんな手伝いをしてもらえるか、自宅で最後まで過ごせるには…など高齢者の生活援助には何があるかといった内容の講座を希望します。
- ・体操で心も体もリフレッシュしたい。

資料 1-②

②. 「雲を作ってみよう」

- 日 時：令和2年9月19日（土）午前9：30～午前11：00
- 場 所：ハーティーセンター秦荘 中ホール
- 参加者数：14名（6家族、子ども8名【幼稚園年中～小学校6年生】、大人6名）
- 内 容：冒頭、「日光でお湯を沸かそう」をテーマに、ハーティーセンター秦荘外の駐車場でソーラークッカーの説明を受けた。その際に、この講座が終了した時点のお湯の温度を各自予想して、ボードに付箋を貼り付けた。

その後中ホールに戻り、前半は、地球温暖化について、講師が用意したマグネットパネルを使用しての講義があった。子どもの年代層が幼稚園年中～小学校6年生と幅が広いこともあり、年中の子どもにとっては初めて学ぶ内容、小学校6年生の子どもにとっては学校の理科の授業の復習の内容となったが、幼稚園児や小学校低学年の子どもたちにとっては、難しい内容で退屈であったように感じた。

中盤は、雲がどのようにしてできるかの講義を実験を交えてしていただいた。圧縮発火器を使った実験で筒の中に火が起こった際、参加者は釘付けだった。

後半は、講師の指導のもと参加者が各自で装置を使い、実際に雲を作る実技を行った。雲ができる瞬間、ポツという音が起こり、小さい子どもたちは少し怖がって耳をふさぐ姿も見受けられた。親子とも興味津々で、何度も雲を作っていた。楽しく実技に取り組んでいた。

最後に、駐車場に出て、冒頭のソーラークッカーのお湯の温度を調べた。結果は98℃であった。天気が良い日で高い温度まで上がった。予想温度が正解に近かった上位数名には、講師からプレゼントが渡された。

アンケート結果

- ・受講申込者数 14人
- ・当日の受講者数 14人
- ・アンケート回収数 10人
- ・アンケート回収率 71.4%

(1) 講座内容はいかがでしたか？

	非常に良い	良い	普通	あまり良くない	未回答
人数（人）	4	4	1	0	1
割合（％）	40	40	10	0	10

(2) 今後どのような講座をご希望ですか？

クッキング、工作、動物、体力健康について、化学、星、実験、化石を作ってみたい、今回と同様に実験を通して勉強できる講座

(3) この講座を受講した感想について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・興味があった。
- ・雲のでき方や雲がなぜ白くなるのかを知れて良かった。説明がとても分かりやすく、学校の理科の時困らないと思います。逆に教えてあげたいです。いい勉強になりました。
- ・分かりやすかった。
- ・ソーラークッカーで98℃までになるのに驚いた。子供と一緒に改めて学ぶことが楽しかった。
- ・雲はどうやってできるのかを初めて知った。
- ・実際に実験をしながら学べる機会を作って頂けたので、子供達にとって良い学びの場となりました。
- ・雲を作ったのがすごく楽しかったし、雲ができた音が花火みたいだった。
- ・ソーラークッカーは初めて見ましたが、大変興味深かったです。
- ・地球温暖化の説明は難しい言葉も多く、子供には少し退屈だと思いました。講座の半分が説明だったので、「雲を作ってみよう」という講座名だけはどうかと思います。
- ・雲を実際に作るのは、子供も楽しく参加できました。
- ・カードで説明は分かりにくいので、スライドで大きく見せてもよいのではと思いました。

(4) 生涯学習課または愛知川公民館が企画する講座全般について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・初めて参加しました。また参加したいと思います。
- ・どんどん色々な講座をやってほしい。

③. 「火おこし体験」

●日 時：令和2年10月17日（土）午前9：30～午前11：00

●場 所：愛知川公民館 ふれあい室、中庭

●参加者数：6名（3家族、子ども3名【幼稚園年長～小学校6年生】、大人3名）

（※申込者は4家族、9名であったが、体調不良などが理由で3名は欠席）

●内 容：前半は、火と火おこしの歴史の説明を受け、マッチやライターのない時代の人たちが、どのようにして火をおこしていたかを学んだ。そこで、火が果たす役目、重要性について実感することができた。

後半は、舞ギリ式火おこし器などの道具を使って、親子で火おこしを体験した。最初は力の入れ具合が難しそうであったが、徐々に慣れて、3家族とも火種をおこし、おこした火種を麻綿の中に入れ、グルグル回し火をおこすことができた。舞ギリ式火おこし器は小さなものから大きなものまであり、大きなものは親子で力を合わせて楽しそうに火種をおこしていた。その後、おこした火はろうそくに移し、参加者が各家族で用意したマシュマロを焼いて、熱そうにしながらもおいしそうに食べていた。幼稚園や小学校では体験できないことが体験でき、子どもたちは大変興味深く、何度も火おこしに挑戦していた。

アンケート結果

- ・受講申込者数 9人
- ・当日の受講者数 6人
- ・アンケート回収数 5人
- ・アンケート回収率 83.3%

(1) 講座内容はいかがでしたか？

	非常に良い	良い	普通	あまり良くない	未回答
人数（人）	3	1	1	0	0
割合（%）	60	20	20	0	0

(2) 今後どのような講座をご希望ですか？

クッキング、バスに乗っているいろいろな所を探索、工作、災害時に役立つもの、物づくり、体験を通じて学べる講座

(3) この講座を受講した感想について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・興味があったので受講しました。やってみて一番早く火をつけられたのが楽しかったし、火を布の中に入れて振るのが楽しかった。
- ・初めてだったので、火の作り方を知って勉強になった。大変だったが（腕が疲れる）、コツが分かれば比較的簡単に火を起こせたので楽しかったです。
- ・なかなか体験できないので、体験できてよかった。
- ・自分で体験することで興味を持って学びに入れる機会はなかなか少ないので、とても良い経験になりました。
- ・難しかった。

(4) 生涯学習課または愛知川公民館が企画する講座全般について、どのような内容でも結構ですのでご自由にご記入ください。

- ・いつも色々な企画、ありがとうございます。子どもと参加できる内容が多めがあると嬉しいです。今回のように非常時にも役立つ講座は、今後も企画してほしい。
- ・またあれば他にも体験したいです。
- ・いつも親子で楽しく参加させて頂いています。次の講座もまた機会があれば参加します。

令和3年度 あいしょう学びの広場事業について(案)

令和元年度中の社会教育委員会議で協議し講師選定した結果、令和2年度あいしょう学びの広場のうち「広く一般町民を対象とする講座」として桂吉弥さん(落語家)を招聘する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

そこで代替事業として、「小規模人数講座」、「親子対象のふれあい講座」の枠として①.究極のエコバッグ、②.雲を作ってみよう、③.火おこし体験を開催した。

令和3年度も新型コロナウイルスの影響が消えることはない想定されるため、あいしょう学びの広場事業については、「広く一般町民を対象とする講座」を計画することは難しい。また、多様化する住民ニーズに対応するため、その他の講座も従来のように町が企画して住民に参加していただく方法を見直し、講座・講師を集約し出前講座等を提供する方法に変えていく。

令和2年度滋賀県社会教育研究大会 (人生100年時代の地域における学びと活躍推進事業 生涯学習・社会教育研修会)

1. 目的 滋賀県内の社会教育委員・公民館関係者をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、各市町、地域における社会教育活動の実践や研究成果をもとに、今後の社会教育・公民館活動の活性化を図るとともに、時代の変化に対応する今後の社会教育のあり方や役割について研鑽し、活性化の方策について検討・考察する。
また、人生100年時代や人口減少社会の到来が見込まれる中、地域づくり、人材の育成が喫緊の課題であるため、日頃の社会教育活動の取組についての交流とネットワークの形成を図る。
2. 主題 「社会教育」を基盤としたこれからの人づくり、つながりづくり、地域づくり
～ 多様な人々の参画によるコロナ時代の持続可能な社会教育とは ～
3. 主催 滋賀県社会教育委員連絡協議会・滋賀県教育委員会
4. 参加対象 県市町社会教育委員、公民館運営審議会委員
公民館・コミュニティセンター等職員、社会教育関係者
生涯学習・社会教育主管課職員、まちづくり担当課職員
社会教育に関心のある方
5. 日時 令和2年11月5日(木) 13:30～16:30 [受付13:00～]
研究大会の内容については、後日動画配信します。
(配信期間) 令和2年11月18日(水)～24日(火)
6. 会場 滋賀県庁東館7階大会議室(大津市京町四丁目1番1号)
7. 日程 13:00～13:30 ○ 受付
13:30～13:50 ○ 開会行事
開会のことば
主催者挨拶 滋賀県社会教育委員連絡協議会 会長
滋賀県教育委員会 教育長
県表彰
13:50～15:10 ○ 講演
演題(仮)「多様な人々の参画によるコロナ時代の持続可能な社会教育とは」
講師：一般社団法人全国社会教育委員連合
会長 鈴木真理(すずき・まこと)氏
15:10～15:25 【質問用記入・休憩・質問回収】
15:25～16:15 ○ 鈴木会長と板倉会長による対談
16:15～16:30 ○ 閉会行事・アンケート・事務連絡

8. 定員 80名 (会場参加)

会場参加と動画配信のいずれかまたは両方を選択できます。

(会場参加については、申し込み状況により調整させていただく場合があります)

9. コロナ対策について

- ・会場では、マスクの着用、手指の消毒または石鹸での手洗いをお願いします。
- ・発熱のある方、体調に不安のある方は、参加を御遠慮ください。
- ・今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、オンライン配信のみに変更となる場合があります。

10. その他

- ・要項については、滋賀県学習情報提要システム「におねっと」
(<https://www.nionet.jp/>) からダウンロードしていただけます。

11. 問合せ先

滋賀県社会教育委員連絡協議会事務局

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課内 担当 堀田

TEL : 077-528-4654 FAX : 077-528-4962

「社会教育」とは何か？

社会教育の本質に迫り住民参加の必要性を語る

滋賀県社会教育研究大会

(人生 100 年時代の地域における学びと活躍推進事業 生涯学習・社会教育研修会)

「社会教育」を基盤とした

これからの人づくり、つながりづくり、地域づくり

すずき まこと

鈴木 眞理 氏

一般社団法人全国社会教育委員連合 会長
青山学院大学コミュニティ人間科学部 学部長・教授



講師

演題

多様な人々の参画によるコロナ時代の持続可能な社会教育とは
「社会教育・参加・社会教育委員」

日時

令和2年 **11** 月 **5** 日 (木)
13:30~16:30 [受付 13:00~]

会場

滋賀県庁東館 7階大会議室
(大津市京町四丁目1番1号)

対象

県市町社会教育委員、公民館運営審議会委員
公民館・コミュニティセンター等職員、社会教育関係者
生涯学習・社会教育主管課職員、まちづくり担当課職員
社会教育に関心のある方

日程

13:30~13:50 ● 開会行事・表彰式
13:50~15:10 ● 講演
15:25~16:15 ● 対談
16:15~16:30 ● 閉会行事

一般社団法人全国社会教育委員連合 会長 鈴木 眞理 氏
滋賀県社会教育委員連絡協議会 会長 板倉 正直 氏

申込先
問合せ

主催 : 滋賀県社会教育委員連絡協議会
滋賀県教育委員会
担当 : 滋賀県社会教育委員連絡協議会事務局 堀田
TEL : 077-528-4654 FAX : 077-528-4962

※ 申込は、各市町の担当者へご連絡ください。



→ 検索 におねっと



県社連第2-26号
令和2年9月9日

各都道府県社会教育委員連絡協議会会長 様
各政令市社会教育委員連絡協議会会長 様

第62回全国社会教育研究大会新潟大会実行委員会
委員長 山田 智之

第62回全国社会教育研究大会新潟大会（第51回関東甲信越静社会
教育研究大会、第20回新潟県社会教育研究大会長岡大会）について

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、新潟大会実行委員会では、新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことを願いながら、第62回全国社会研究大会新潟大会の開催に向けて準備を進めてまいりました。

しかしながら、9月7日に実行委員会を開催し、大会の取扱い等について審議をした結果、県をまたいで移動に慎重な意見が多いこと等を踏まえ、標記研究大会の通常開催を見送ることとし、下記のとおり、紙面及び動画配信（録画）を基本としたかたちで実施することとなりましたのでお知らせします。

各協議会におかれましては、新型コロナウイルスの感染状況等から苦渋の決断に至りましたことを御理解いただき、お手数でも、所属の委員の方々に周知いただくよう、お願いいたします。

記

1 大会実施内容について

- (1) 11月12日(木)に、新潟県内の社会教育委員等を参加対象として研究大会を開催します。(新潟県内の市町村による事例発表、シンポジウム、記念講演会を予定)
- (2) 上記大会の模様について、全国の皆様が視聴できるよう、大会開催後、新潟県ホームページ等に動画を掲載・公開します。
- (3) 大会冊子(当初、分科会で発表を予定していた事例を含む)を作成のうえ、各協議会に10冊程度配布すると同時に、新潟県ホームページ等に掲載・公開します。

※ 詳細については、大会冊子配布時に改めてご案内します。

2 その他

8月5日付け文書で御案内済みの全国大会要項に基づき、参加申し込みをしていただいた方におかれては、キャンセル等の手続きは一切不要ですので、所属の委員に周知願います。

第62回全国社会教育研究大会新潟大会実行委員会事務局
(新潟県教育庁生涯学習推進課内) 長谷川 淳
Tel 025-280-5616 fax 025-284-9396
e-mail hasegawa.atsushi3@pref.niigata.lg.jp